

1. 福山市の紹介
2. 地域資源活用の考え方・位置付け
3. 福山市地域資源調査について
  - ・国内外のマーケット・トレンドの変化
  - ・地域資源活用に向けた強化のポイント
  - ・トレンドや強化ポイントを踏まえた地域資源の分析
4. 今後の進め方について

# 1 福山市の紹介

# 1 福山市の紹介 ～市の概要～



- 瀬戸内の中央に位置し、穏やかな気候と豊かな自然に恵まれた広島県東部の中核市（人口約46万人・中四国地方5番目）
- 繊維産業や鉄鋼業などのものづくり企業が立地し、オンリーワン・ナンバーワン企業が数多く存在。

## 主な産業

製造業（鉄鋼，繊維，機械，木材等）



## 市の花



ばら



キク

# 1 福山市の紹介 ～代表する観光資源～

## (1) 鞆の浦 日本遺産、重要伝統的建造物群保存地区、ユネスコ「世界の記憶」に認定。



港町文化をテーマとしたストーリー「瀬戸の夕凧が包む国内随一の近世港町～セピア色の港町に日常が溶け込む鞆の浦～」が日本遺産に認定



「朝鮮通信使に関する記憶」がユネスコ「世界の記憶」に登録



江戸中期までに整えられた地割に、伝統的な町家や寺社、石垣等の石造物などが一体となった町並みの8.6haが重伝建に選定。

## (2) 福山城 日本一新幹線駅に近い城



江戸時代に築城された最後の天守。初代藩主水野勝成により築城。天守閣がある近世城郭として、日本一新幹線駅に近い。2022年に全国唯一の天守北側の鉄板張りを復元。

## (3) ばら 100万本のばらのまち



第20回  
世界バラ会議  
福山大会  
2025  
WFRS 20th  
WORLD ROSE CONVENTION  
2025 in FUKUYAMA

戦後復興の象徴として市民協働で進めてきたことが認められ、2025年の世界バラ会議開催地に決定。

# 1 福山市の紹介 ～オンリーワン・ナンバーワン企業～



## デニム製造量ナンバー1

カイハラ株式会社

福山市はデニムの製造量が日本一。その中でカイハラ（株）では一貫生産体制によって多種多様で高品質なデニム生地を供給。ブルーデニム分野では国内50%以上のシェアを占め、世界20数カ国へ輸出する国内トップメーカー。

## 8万トン級の貨物船 建造量ナンバー1

常石造船株式会社

国際海上物流を支える外航船を建造する。ばら積み貨物船「カムサマックス」は、載貨重量8万トン級貨物船で世界トップシェアを誇る。高い輸送能力と優れた省エネ性能を持ち、これまでに350隻を超える建造を達成。



## 粗鋼生産量ナンバー1

JFEスチール株式会社  
西日本製鉄所

粗鋼生産量日本一を誇る世界最大級の製鉄所。自動車や造船に用いられる鋼板や建築材料・パイプ・レールなど様々な鉄鋼製品を製造。鉄道レールを製造しているのは、日本では福山市と北九州市だけ。



## 食品トレー生産量ナンバー1

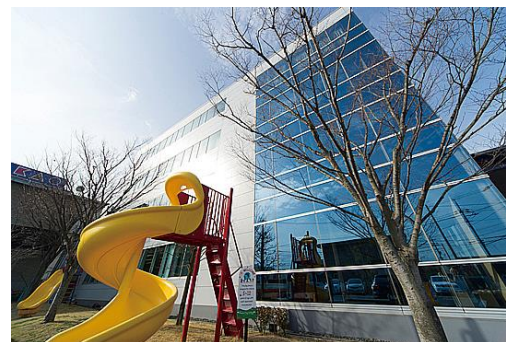
株式会社エフピコ

食品トレーのトップメーカー。業界で初めてカラートレーを販売。電子レンジ対応、人手不足対応など、高付加価値製品を開発。また、使用済みトレーやPETボトルを新たな容器に再生するリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」の仕組みを構築。



## オリジナル大型遊具の 売上ナンバー1

タカオ株式会社



オリジナル遊具、景観製品を製造。全国の街区公園からテーマパークまで、各種製品の企画・デザイン・設計・製作・施工・メンテナンスまで一貫して実施。



# 1 福山市の紹介 ～主な福山ブランド認定品～

塩で食べるハンバーグステーキ  
(有限会社池口精肉店)



福山生まれ。

バラ刺繍パンツ  
(株式会社ナツメダ)



自慢したくなる、



ターボウ (turbou)  
(diporto合同会社)



福山工場長シリーズ  
(株式会社ダイエットクックサプライ)

# 1 福山市の地域資源にはどんなものがあるのか ～参考：備後圏域の特徴～



府中市



石州街道の宿場町として栄えた歴史ある古都。家具・機械金属・繊維などの製造業を中心に、歴史と技術力が融和したまち。

神石高原町



豊かな自然に恵まれ、農業・畜産業を中心とした生産機能や、リゾート・レクリエーション機能を備えたまち。

世羅町



豊かな自然に囲まれた、広島県内の主要農業地域。観光農園や農産物直売所が多く、6次産業化の先進地。

三原市



陸・海・空の総合的な交通の要衝である商工業都市。タコのまちとしても有名。

尾道市



商都として発展した文化薫るまち。しまなみ海道サイクリングロードは世界から注目。

福山市



多種多様な製造業が集積した、ものづくりに強いまち。瀬の浦や福山城などが有名。

井原市



古くから繊維産業が盛んなものづくりのまち。井原デニムは有名ブランドで使用されるなど世界でも高い評価。

笠岡市



産業・交通・文化の要衝。日本遺産に認定された笠岡諸島や、生きた化石と言われるカプトガニなどが有名。





## **2 地域資源活用の考え方・位置付け**

## 2 地域資源活用の考え方・位置付け

最上位  
計画

### 福山みらい創造ビジョン

#### 位置付け

- ・ 第五次福山市総合計画の第2期基本計画として、福山市総合戦略と一本化して策定
- ・ 将来のまちの姿を明らかにし、市民と行政が共に取り組むまちづくりの指針

#### 計画期間

2021年度～2025年度（5年間）

#### 新5つの挑戦

- ・ 福山駅周辺の再生加速とグローバル都市の創造
- ・ 希望の子育てと寛容で健やかな社会の実現
- ・ 人や企業が安心・安全に活躍できる都市環境の構築
- ・ **新たな価値を創出する人材育成と個性光る地域振興**
- ・ 歴史・文化とスポーツによる新たな体験価値の創出

個別計画  
(基本計画)

### 福山市地域戦略

#### 位置付け

- ・ みらい創造ビジョンのめざす姿の実現に向けて、個性豊かで活力ある地域づくりを進めていくために、今後の地域づくりの在り方や行政支援の考え方を示したものの

#### 計画期間

2022年度～2025年度（4年間）

#### 取組の方向性

- ・ 地域コミュニティの再構築
- ・ 生活基盤の維持
- ・ **地域資源の活用**
- ・ 地域への関心・関係づくり（関係人口創出等）
- ・ 地域のデジタル化の推進

地域資源活用の  
具体的方策

### (仮称) 地域未来ビジョン (2023年度末以降、順次策定)

#### 民間事業者や地域住民等による 地域資源活用の促進

- ・ 新たな人や企業の呼び込み
- ・ 誘客を契機とした連携による新たな魅力の創出

#### ○ アドバイザリー会議

外部有識者が方向性を助言

#### ○ 地域活性化協議会

民間事業者や地域住民等が参画し、資源活用の方向性や具体的な取組等を議論

### **3 福山市地域資源調査について**

## 3 福山市地域資源調査 ～実施概要～

調査期間：2022年（令和4年）6月16日～2023年（令和5年）3月31日  
業務委託事業者：株式会社地域ブランディング研究所

### （1）現状分析・トレンド変化の整理

#### 本市の現状と課題分析

- 各種統計データ等の客観的なファクトにより、産業・経済・観光の状況を把握し、広島県、せとうちDMO等における広域戦略の動向を踏まえた課題を分析した。

#### 専門家ヒアリング

- 各マーケットトレンドに精通した7名の専門家に対しヒアリングを実施し、次の視点から国内外のマーケットや観光トレンドの変化を取りまとめた。

### （2）地域資源の把握・分析

#### キーパーソンヒアリング

- 本市で事業又は地域活動等に携わる25名に、地域プレイヤーとしての活動や課題についてヒアリングを実施した。
- 発信の強化や観光への積極的な活用、価値を高めるための地域資源の連携などを行い、もっと市外に魅力を知らしめたいという意見や、課題として人材不足、資金不足、発信不足などが多く挙がった。
- 市としての大きな方針を求める声もあり、市全体の取組としていく必要がある。

#### ワークショップ

- 市民を対象に参加者を募集し、ワークショップを開催した。グループディスカッションでは、地域資源の活用をテーマに、資源の洗い出し・エリアの強みを生かした活用案について発案・議論を行った。

実施日：2022年11月16日、17日 参加者数：合計50名

開催場所：鞆公民館、かんなべ市民交流センター、オンライン(Zoom)、北部市民センター、沼隈サンパル

#### 地域資源の整理と専門家による分析

- 各エリアの地域資源のリストアップを行い、専門家による現地視察及び専門家へのアンケート調査を実施した。
- 核となる地域資源のピックアップとその根拠、専門家の意見、強みとなる地域資源の3つの視点から評価と具体的な取組アイデアの検討を行った。

### 3 福山市地域資源調査 ～国内外のマーケットやトレンドの変化～

新型コロナウイルス感染症による影響

旅スタイルの変化

観光に求めることの変化

観光地が求めることの変化

#### ○ 国内マーケット

##### ■ シビックプライドの醸成

SNS映えを目的に訪れる観光客が増えるだけでは、地域内消費につながらないことから、エシカル消費（地域の活性化や雇用などを含む人・社会・地域・環境に配慮した消費行動）を推進する動きが加速している。観光を通じた地域のファンが支える仕組みを作り、シビックプライド（都市に対する市民の誇り）の醸成につなげていくことが、国内マーケットにおけるトレンドの1つになっている。

##### ■ 地域のつながり・持続性への寄与

コロナ前の傾向として、「インバウンドに頼りすぎ」、「団体や新規客の獲得が中心で、リピーターの獲得による持続性に寄与していない」といった課題が挙げられている。

一方、新たな需要として、特定の地域を応援するというつながりや、居場所が欲しいといった需要が増加傾向にあり、限られたお金を意義・意味あるものに消費したいという考え方の浸透や、プロセスエコノミーの加速といった社会的背景がある。

#### ○ 海外マーケット

##### ■ SDGs対応の標準化

特に欧米豪諸国では、SDGsの文脈で物事を見ることが当たり前となっており、適切な対応ができない地域は目的地として選ばれないことが一般的な考え方となっている。

具体的な観点としては、「未来へのビジョン・価値観に共感ができるかどうか」、「（高価であったとしても）ホンモノであるかどうか」といった部分が着目されるような社会へと変化している。

#### ■地域資源の魅力をより深く知る → 「交流・学び」

各エリアにおいて様々な地域資源を活用した取組が行われているものの、誘客や稼ぐという視点が不足した取組も多く見受けられる。一方で、各エリアで活動するプレイヤーは、多くの人に地域資源が持つ本質的な価値や魅力を知ってほしいという思いを持っている。

そのため、実際に交流する機会や、その機会に学びの視点を盛り込むことで、単なる物見ではなく、その資源の裏側にあるストーリーや受け入れ側の思いを感じながら、地域資源の魅力をより深く知ることができる。

#### ■既存コンテンツのブラッシュアップによる効果的な誘客 → 「体験」

現に提供されているコンテンツにおいても、ブラッシュアップの余地のあるものが存在する。

新型コロナウイルス感染症の影響によるマーケットトレンドの変化を踏まえ、単なる体験にとどまらず、より高い付加価値をつけるなど、既存コンテンツの磨き上げを行い、より効果的な誘客につなげていくことが求められる。

#### ■地域資源をつなぎ、エリアでの滞在時間延長を狙う → 「周遊」

マーケットトレンドに即した活用を進めていく上で、各エリアの強みとなる資源を生かすという視点はもちろんのこと、個々の資源だけでなく、複数の資源を一体的に活用する大きな枠組みで取り組むことも必要となる。

エリアを超えて共通項のある資源同士をつなぐことで、個々の資源のみの活用にはない新たな付加価値が生まれる。また、資源間での周遊によりエリア・地域での滞在時間が長くなるなど効果的な地域資源の活用を進めることができる。



### 3 福山市地域資源調査 ～資源から見るエリアの特徴～

#### 【北部】

古代と現代が共存する歴史探訪&豊かな自然・動物とのふれあいの里

##### ■ 代表的な地域資源

- ・山野峡などの自然豊かな環境
- ・ものづくり（繊維産業）
- ・古墳、砂留
- ・福山市立動物園

#### 【北東部】

城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を味わう街

##### ■ 代表的な地域資源

- ・文化資源、施設（廉塾・神辺本陣など）
- ・古墳、砂留
- ・ローカル鉄道（福塩線、井原鉄道）
- ・酒蔵（天寶一）

#### 【中央・東部】

福山を代表する観光、芸術・文化、交流、産業の中心地

##### ■ 代表的な地域資源

- ・福山城
- ・ばら（ばら公園など）
- ・ものづくり（JFEスチール工場など）
- ・文化、芸術（博物館、美術館）
- ・くわい

#### 【南部】

海を臨むレジャーと癒やしの交流スポット

##### ■ 代表的な地域資源

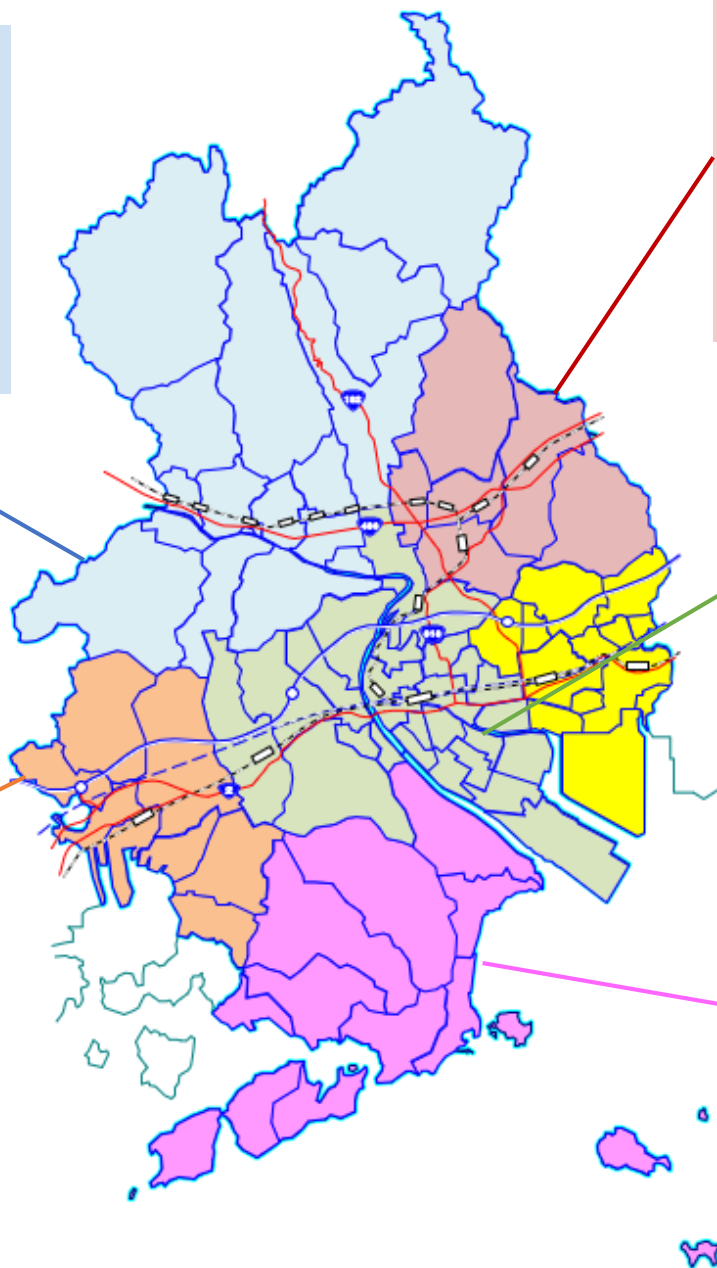
- ・鞆の浦
- ・海洋資源
- ・リトリートスポット
- ・ぶどう
- ・ものづくり（鍛造技術、保命酒）

#### 【西部】

伝統文化を継承する学びのフィールド

##### ■ 代表的な地域資源

- ・ものづくり（備後畳表、下駄）
- ・ゲタリンピック



### 3 福山市地域資源調査 ～エリアごとの代表的な資源～

	中央・東部	西部	北部	南部	北東部
<b>エリアの特徴</b>	福山を代表する観光、芸術・文化、交流、産業の中心地	伝統文化を継承する学びのフィールド	古代と現代が共存する歴史探訪&豊かな自然・動物とのふれあいの里	海を臨むレジャーと癒やしの交流スポット	城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を味わう街
<b>自然資源</b>	ばら公園 緑町公園 中央公園	本郷憩いの森キャンプ場 竜王山	大滝神社と名水 藤尾の滝 蛇円山 ほたる	瀬戸内海国立公園 仙酔島 走島	堂々川 ほたる 八丈岩
<b>都市資源</b>	総合体育館前公園 かわまち広場	松永クリーク 松永グリーンパーク	山野農村公園 山野峡県立自然公園 富谷公園 福塩線	海洋アクティビティ	堂々公園 吉野山公園 福塩線 井原鉄道
<b>産業資源</b>	うずみ くわい ワイン JFEスチール工場	松永下駄 備後畳表（い草） 富有柿 いちじく	繊維産業 グリーンアスパラガス 山野峡ワイン 食用バラ	瀬戸内の地魚 沼隈ぶどう 田尻の杏・オリーブ 保命酒 鍛造	桃 天寶一 福山琴



### 3 福山市地域資源調査 ～エリアごとの代表的な資源～

	中央・東部	西部	北部	南部	北東部
<b>文化資源</b>	福山城 明王院 広島県立歴史博物館 ふくやま美術館 ふくやま文学館 明王院五重塔 俄山弘法大師	ゲタリンピック 東村町かかし祭り 本郷神楽 本荘神社・潮崎神社	けんか神輿 素戔鳴神社 備後一宮吉備津神社 別所砂留 芦田大谷砂留 二子塚古墳 山野民俗資料館	鞆の浦の町並み お手火神事 能登原とんど 沼名前神社 太田家住宅 阿伏兔観音 常国寺	廉塾ならびに菅茶山旧宅 神辺本陣 葛原家住宅 堂々川砂留 御領古墳群 四つ堂（辻堂・憩亭） 神辺城跡
<b>施設資源</b>	明王台展望台 福山市人権平和資料館 福山自動車時計博物館 喜多流大島能楽堂 エフピコアリーナふくやま 次世代エネルギーパーク iti SETOUCHI	松永はきもの資料館 骨董&ギャラリー喫茶 蔵 園芸センター ふくやまふれ愛ランド 広島県福山少年自然の家	福山市立動物園 芦田わくわく市 信岡フラットミュージアム 貝原歴史資料館	いろは丸展示館 神勝寺禅と庭のミュージアム クレセントビーチ 道の駅アリストめまぐま 平家谷しょうぶ園 ツネイシしまなみビレッジ 内海ふれあいホール	菅茶山記念館 神辺歴史民俗資料館
<b>体験コンテンツ</b>	城泊 くわい収穫体験 次世代テクノロジー体験 藍染体験 エフピコ工場見学	い草植付け体験 円座づくり 本荘重政史跡散策会 自然ゲーム・クラフト体験	砂留見学 古墳巡りツアー 藍染体験 縫製技術講座 デニム工場見学 ぶどう収穫・ワイナリー 見学 けんか神輿見学 キャンプ	民泊体験 クルージング・カヌー 砂風呂・江戸風呂体験 漁業体験（底曳・のり養 殖等） 鍛造体験 座禅体験 鞆潮待ちガイドツアー 鞆竜馬コースツアー キャンプ スポーツ合宿	古墳散策 古墳ロードスタンプラリー 山陽道歴史巡りウォーク 史跡ガイド案内ツアー ワイン列車

### 3 福山市地域資源調査 ～トレンドや強化ポイントを踏まえた地域資源の分析～

#### ■ 伝統ものづくりが根付いており、関係者の変革意欲も旺盛

下駄、畳表、鍛造といった伝統を受け継ぐものづくりと、備後鞆から発展したデニム産業、備後地域の産業の中心とも言えるJFEスチールの大型工場などの伝統を活かした技術が市内に点在している。



#### ■ 豊かな自然と寺社仏閣を活かしたリトリート滞在の拠点

豊かな自然があり、滝や峡谷、キャンプ場など自然を楽しみながら滞在できる場所が豊富。寺社仏閣において禅を体験することができ、旅人の休憩所として辻堂が多く存在するなど、近年のトレンドであるリトリート需要を満たすことができる。



#### ■ 陸・海の両方の魅力を楽しめる豊かな食文化

瀬戸内海の水産物などが豊富な漁師のまちであるとともに、ぶどうなどの農産物が栽培されており、陸と海の魅力を楽しめる環境があり、農産物・水産物を活かした食を巡る旅には大きなポテンシャルがある。



#### ■ 潮待ちの港として親しまれてきた、豊かな瀬戸内の魅力

「潮待ちの港」として商売の中心であった鞆の浦の町並み、瀬戸内海の穏やかな気候をフィールドとした海洋アクティビティ、底引網漁や海苔養殖などの漁業、さらに地元漁師が直接魚を出荷する「アリストめまぐま」など、瀬戸内の魅力を感じられる生業と、体験できるコンテンツが南部地域を中心に存在している。



#### ■ 古墳群などの歴史文化を活用したシビックプライドの醸成と誘客

古墳や砂留、辻堂などの歴史的な価値のある資源が北部・北東部地域を中心に多く点在し、神辺本陣、廉塾など城下町～宿場町の流れをくむ武家文化を体験できる文化財も残されている。多くが地域住民の手で守られており、古代～中世～江戸時代までの人々の暮らしを知ることができる。



#### ■ 市民の生活文化・アートを切り口にしたまちづくり

JR福山駅があり、本市の玄関口とも言える中央部地域では、博物館や美術館などが並ぶほか、天守北側鉄板張りである「福山城」や、2025年には世界バラ会議福山大会を控え、本市のシンボルであるばらが咲く街並みなど、観光客など外から来る人へ福山らしさを印象付ける生活文化が多く存在している。



## 4 今後の進め方

# 4 今後の進め方

## 地域活性化協議会の流れ

## アドバイザー会議の流れ

6月

### 第1回アドバイザー会議

- ・地域資源活用の方角性
- ・地域活性化協議会の効果的な実施方法

7月

### 説明会 (7月中旬～8月)

※実施方法検討中 (5エリア程度を想定) ※アンケート等で参加者の思いを聞く

8月

### 勉強会・ワークショップ<sup>o</sup> ※必要に応じて随時開催

随時

### 地域活性化協議会①

- 【議論内容】
- ・めざす将来像
  - ・現状と課題の整理
  - ・具体的取組
  - ・ロードマップ
  - ・役割分担

### ビジョン策定

### 地域活性化協議会②

- 【議論内容】
- ・めざす将来像
  - ・現状と課題の整理
  - ・具体的取組
  - ・ロードマップ
  - ・役割分担

### ビジョン策定

### 地域活性化協議会③

### 第2回アドバイザー会議

- ・協議会の立ち上げに関する意見

(随時)

- ・アドバイザー会議への情報共有
- ・協議会の議論状況に応じた助言

### 第3回アドバイザー会議

- ・一年の総括・次年度以降の進め方について

3月

2024年  
4月～

### アドバイザー会議 (必要に応じ)

地域活性化協議会に参画する民間事業者や  
地域住民等が主体となりビジョンを実行

交流人口・関係人口の増による地域活性化

# 意見交換

- ・ **地域資源活用の方角性について**
- ・ **地域活性化協議会について**
- ・ **その他**

トレンドの変化や強化ポイント「体験」「交流・学び」「周遊」等を踏まえた民間事業者や地域住民等による取組実施・磨き上げ

- ・各エリアの特徴や強みとなる地域資源を生かした新たな魅力の創出に向けた地域や民間事業者等の**連携**の強化
  - ・地域資源をつなぐことでの誘客・**周遊**の促進
  - ・**体験・交流・学び**を切り口に、観光客と交流する機会を創出し、関係人口として地域づくりに関わるきっかけづくりや、受入側の郷土愛を醸成
- ⇒ 市内外の多様な主体を巻き込んだまちづくり

（ご意見いただきたい点）

他に必要な視点やポイント等があれば、ご意見をお願いします。

- ・備後圏域や瀬戸内などの広域での連携
- ・国内のみならず世界を見据えたPRの視点
- ・滞在時間延長に向けた視点 など

## 1 説明会の開催

- ・市内のエリアごとに実施
- ・地域資源の活用に興味・関心のある者などを幅広く対象とする
- ・地域資源活用の方向性の説明
- ・活用したい地域資源や取組内容などのアンケート調査を行う

## 2 勉強会・ワークショップの開催

- ・説明会でのアンケート調査等を踏まえて、関連性の強い地域資源や取組のグループ化を促進
- ・先進事例の紹介、将来像やストーリーを共有する

## 3 市への申請

- ・構成メンバーや取組イメージ等を記載した申請書を提出

## 4 支援決定

- ・申請書の提出を受け、アドバイザリー委員の意見等を踏まえて、地域活性化協議会へ行う支援内容の決定

## 5 地域活性化協議会の立ち上げ・支援

## ○協議会に求める要件

### （構成メンバー・実施体制について）

- ・自ら活動する意思のある、複数の主体（企業、団体、個人等）で構成されていること、  
或いは構成されることが確実であること
- ・自走化が期待できる実施体制となっていること

### （テーマ・エリアとしての取組イメージについて）

- ・他の主体と連携し、これまでの取組を実施するだけではなく、拡大・改善する内容となっていること
- ・社会や観光のトレンドを踏まえて、市外からの誘客等を実現するコンテンツとなる見込みがあること
- ・本市の各種計画・戦略等と相反しない内容となっていること

## ○支援内容について

- ・取組のブラッシュアップや連携できる主体とのマッチング
- ・アドバイザーによる助言（不足するポイントや改善の方向性など）
- ・資金調達に関する支援（クラウドファンディングのサポートなど）
- ・市HPやSNSでの情報発信



## ○地域活性化協議会で達成したい目標・目的

- ・ **同じ将来イメージを共有した仲間が**（仮称）地域未来ビジョンを策定することにより、行うべき取組を明確にし、役割分担をしながら多様な主体が**連携して取り組むこと**
- ・ **地域資源**の持つ可能性を引き出し、**コンテンツやストーリー等をつなぎ**、市内外・国内外へPRすることで**関係人口の創出やシビックプライドを醸成すること**

## ○地域活性化協議会での議論すべき事項（案）

- ・ めざす姿の設定
- ・ 各取組・資源の共通のストーリーの検討
- ・ マーケティング・ターゲットの設定
- ・ 現在の取組のブラッシュアップ、他の取組との効果的な連携の検討
- ・ 収益性や財源の確保
- ・ 役割分担
- ・ ロードマップの作成

## （ご意見いただきたい点）

（仮称）地域未来ビジョン策定や関係人口創出に向け、地域活性化協議会で議論すべき事項について、ご意見をお願いします。